

## 第13回 コミュニケーション教育研究会 議事録

日時：平成20年7月17日（木） 16:40-18:30

場所：湘北短期大学 1号館 128教室

参加者：藤沢高校 佐藤 明宏先生；川崎総合科学高校 原 満先生；茅ヶ崎高校 三橋 健彦先生  
湘北短期大学 伊藤、岩崎、小野目、田村、藤澤、小棹（敬称略）

配布資料：

1. 第12回コミュニケーション教育研究会 議事録案
2. 学内アンケート結果
3. 高校向けアンケートたたき台
4. フォーラムたたき台

議事：

1. 第12回コミュニケーション教育研究会の議事録を再確認、修正の上、承認した。
2. 学内アンケート結果について  
7月16日までデジエで回収した結果を集計（回答数：教員30/45、事務職員20/35）
  - 学生の能力評価の観点を明確にすることが重要
    - 平均的にすべての項目で欠点がない → 生産型、Generalistとしての能力
    - ある項目で突出した人材 → 創造型、クリエイティブな人材
  - 設問に書かれているようなことは本当に問題なのか？
    - 設問2-1で確認。「このような点を問題視することがおかしい」に対し、否定的。  
→ 回答では、ほとんど全員がなんらかの問題意識を持っている  
(そう思う0、ややそう思う1、どちらとも23、やや違う10、違う16)
  - 設問間の関連性を重相関で確認してはどうか。
  - 湘北短大だけなのか？ 松商短大などでも実施を呼びかけるのはどうか。
3. 高校向けアンケート
  - 宛名を「学校長殿」とする。
  - 設問の中に、担当教科、担当分掌、年齢（代）を追加する。
    - 担当部署がキャリア支援や生活指導など、高校によってさまざま
    - 普通、工業、商業では事情が異なると思われる
  - 設問C、「職場等で社会人に必要とされる能力という観点で見た場合、」という一節をいれる。
  - 回答をマークシートとし、スキャナで取り込む方法もある。
  - \* 今回は5000件送付、1000件程度の回収を見込むので手作業入力とする。
  - \* 発送は8月中旬、回収を9月中旬とする。
  - \* 連携校に関しては、一校あたり複数名での回答をお願いします。
4. フォーラム開催に関して
  - シナリオ：企業が求める高等教育とは → 高校—大学連携教育で実現する  
[A] 生産型人材に求められる高等教育  
神奈川県立横浜清陵総合高等学校校長 石川裕二先生  
横浜銀行企画部を経て、1988年横浜銀行南林間支店支店長。1990新城支店支店長、1993年新宿支店支店長。その後、整理回収機構にて地銀生保住宅ローンを中心とする第六事業部取締役事業部長を担当。  
2003年11月から横浜清陵総合高校の校長。  
神奈川大学高大連携会議の副議長。  
(三橋先生ご提供情報)

[B] 創造型人材に求められる高等教育  
ソニー人事、高橋さん

- 具体案：(田村先生原案ご提供) 高大連携と接続教育G Pフォーラム  
「現代型社会人をめざす高大連携教育」  
湘北短大と連携高校のネットワークにより創造的で責任感のある社会人を育成するためには  
どのような教育が必要か

第一部 基調講演

候補1 初等・中等教育における問題点と事例

大塚 貢氏 (上田市教育委員長)

候補2 夢考房が育む高大連携の創造教育

服部陽一氏 (金澤工業大学副学長)

第二部 シンポジウム

1. 5000名のアンケートの結果報告

2. 期待される社会人への教育、企業が求める高等教育の在り方を討議する

上記講演者 (コメント役)、石川氏 (元横浜銀行)、高橋敏夫氏 (元ソニー人事本部長)、  
湘北から1名、高校から1名。司会 田村。

次回開催予定

平成20年度第4回 (第14回) 9月25日 (木) 16:40~18:10  
湘北短期大学 128 教室

議題： 学内アンケートの詳細分析  
フォーラム内容決定  
受講生の効果検証

以上